



身体・性差・ジェンダー

ー生物学とジェンダー学の対話ー

■日時／平成 18 年 7 月 8 日（土） 12:30-17:30

■場所／日本学術会議講堂（定員 250 名・参加費無料）

□主催／日本学術会議

□後援／東北大学 21 世紀 COE「男女共同参画社会の法と政策」、お茶の水女子大学 21 世紀 COE「ジェンダー研究のフロンティア」、東京大学男女共同参画室、名古屋大学男女共同参画室、理化学研究所脳科学総合研究センター、女性科学研究者の環境改善に関する懇談会（JAICOWS）、男女共同参画学協会連絡会、大学等の男女共同参画推進ネットワーク、ジェンダー関連学協会連絡協議会、ジェンダー法学会、ジェンダー史学会、日本女性学会、国際ジェンダー学会、日本スポーツとジェンダー学会

□協力／(独) メディア教育開発センター

SCS（衛星通信を利用した大学間ネットワーク）を利用し配信します。

プログラム

12:30- 開会・メッセージ

黒川 清（日本学術会議会長）

猪口 邦子（内閣府特命担当大臣 [少子化・男女共同参画]、日本学術会議会員）（依頼中）

江原由美子（首都大学東京都市教養学部教授、日本学術会議会員、学術とジェンダー委員会委員長）

<総合司会>

後藤 俊夫（中部大学学監、日本学術会議会員、学術とジェンダー委員会副委員長）

<コーディネータ>

大沢 真理（東京大学社会科学研究所教授、日本学術会議会員）

12:50- 講演

原 ひろ子（城西国際大学大学院人文科学研究科客員教授、日本学術会議連携会員）

「男女共同参画社会の実現と学術の役割」

上野千鶴子（東京大学大学院人文社会系研究科教授、日本学術会議会員）

「ジェンダー概念の意義と効果」

東村 博子（名古屋大学大学院生命農学研究科助教授、日本学術会議特任連携会員）

「女と男はどう違う？ー生物学的視点からー」

大内 耐義（東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議連携会員）

「性差医療の可能性」

井谷 恵子（京都教育大学教育学部教授、日本学術会議特任連携会員）

「ジェンダー研究からみた体育・スポーツの可能性と課題」

15:05- 質疑・討論

<ディスカッサント>

五十嵐 隆（東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員）

加賀谷 淳子（日本女子体育大学客員教授、日本学術会議会員）

黒田 公美（理化学研究所脳科学総合研究センター基礎科学特別研究員）

竹村 和子（お茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授、日本学術会議連携会員）

長谷川 真理子（総合研究大学院大学教授、日本学術会議連携会員）

松田 昌子（山口大学医学部教授）

17:30- 閉会挨拶

辻村みよ子（東北大学大学院法学研究科教授、日本学術会議会員、科学者委員会男女共同参画分科会委員長）

（プログラムは一部変更になる場合があります。）

申込方法

はがき、FAX または E-mail にて必要事項をご記入の上、公開講演会担当宛にお申し込みください。

■必要事項／氏名（ふりがな）・年齢・職業・連絡先電話番号・E-mail アドレス

*定員（250 名）となり次第、締め切りとさせていただきます。

なお、定員に達しない場合は、当日も受付を行いますので、直接事務局へお問い合わせください。

開催日までに定員に達した場合、受付に漏れた方へのみ、ご連絡を差し上げます。



お問い合わせ先：

日本学術会議事務局企画課公開講演会担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL: 03-3403-1906 FAX: 03-3403-6224

E-mail: info@scj.go.jp

URL: http://www.scj.go.jp

